

論 文

外科系病棟における夜間の音と患者への影響

— ナースステーションで発生する騒音を中心に —

瀬戸満里子・中町麻紀子・出島このみ・北川 雅子・田城 圭子
上山 圭子・東 伸代・大矢 早苗・八百市清美・武部 幸子
(金沢市立病院)

An influence of night noises on patients around
a nurse station in a surgical ward

Mariko Seto, Makiko Nakamachi, Konomi Degima, Masako Kitagawa,
Keiko Tasiro, Keiko Kamiyama, Nobuyo Higasi, Sanae Ooya,
Kiyomi Yaoichi and Sactiko Takebe
Kanazawa City Hospital

要 旨

この研究は、外科系病棟における、夜間の音について、ナースステーションを中心に調査することにより、患者への影響を検討した。

当病棟で起こる夜間の音を、騒音計により測定し、同時に入院患者にアンケート調査を行った。その結果、以下のことがわかった。

- ①夜間の音はナースステーションに近い部屋ほどナースステーションからの影響を受けやすく、最高値は50~70ホーンであり、その変動は10~35ホーンである。
- ②夜間の患者の気になる音は、看護に関連した音では、ナースコールの音や看護婦の足音である。